条幅部漢字課題参考　（三月二十二日締切）

A

鈴木静村書

霞開水閣桃千樹　山吐蛾眉月半輪（汪道昆）
霞は開く水閣桃千樹、山は吐く蛾眉月半輪

B

概観

毎回書き終わった段階で掛けて自己批正をしつつ、特にキズを中心にチェック。今月も以下の通りご参考に。**樹**、B末画横画に見える失敗。これは点。**吐**、点は私の好み、打った方が私には安定感。**眉**、A四画目のうねり嫌味、直線的が可。**月**、A重苦しい。二縦画どちらか太細を。なお門構え四つ、作例に関係なく変容の工夫を。もちろん字典参考のこと。

主な文字について

霞 ″叚″部分の書き方字典参照。**開** B簡略な表出。**閣** A草体、B黄庭堅借用。**桃** 旁に相違を。**千** B二画目離す。**樹** 墨継ぎ、偏は王鐸調。**吐** 表情に相違。点はなくても可。**蛾** ″虫″の一画目は私のクセ、なくてもよい。**月** 墨継ぎ、A硬く、重苦しい。**半** 縦画の用筆に一工夫を。**輪** 車偏多様、字典を参照新風を――。

訳…水閣に接する千樹の桃は霞をたなびかせて開き、蛾眉に似た半輪の月は山上にさしでている。

予告（四月二十二日締切）　雨過潮平江海碧　電光時掣紫金蛇（蘇東坡）

◆注意
- 条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条漢を○で囲み（1）と記入する。）
- 二枚目からの出品（バーコード券の条漢を○で囲み（　）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

条幅部かな課題参考　（三月二十二日締切）

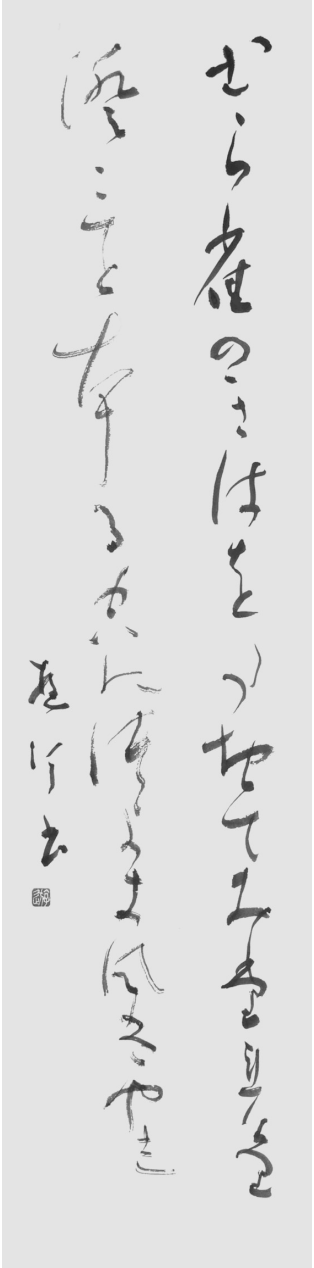
A

平岡華雪先生書

群雀(むらすずめ)の檜端(きば)をたちてみだれけり澄(とほ)み徹る空に強き風迅(はや)し（吉野秀雄）

群雀のきはをたちてみ多連介(たれけ)りす三(み)とほる空二(に)つよき風迅し

B



立川遊汀先生書

むら雀のきはを多地(たち)てみ堂連介(たれけ)里澄(み)三と本(ほ)る空に徒(つ)よ支風盤(きは)や志(し)

吉野秀雄（1902～1967）歌人

会津八一に師事。万葉集と良寛に傾倒した。伊藤左千夫、正岡子規ら、アララギ派の作風に強い影響を受ける。若くして結核を患い生涯のほとんどを病床ですごす。早梅集ほか歌集多数。また良寛研究の第一人者で良寛に関する著書も多い。◎昭和33年「吉野秀雄歌集」で第10回読売文学賞受賞、受賞記念講演に私も偶然参加、講演を拝聴しました。50年も前になりますが、若かった昔を今しみじみ思い出しております。

学び方

今回で私の担当は終わります。六回シリーズを通して強調したことは、俳句なり短歌なり課題をよく理解してから作品づくりをすることです。最後、日頃私が親んでおります古筆、関戸本古今集のリズムで思いきり自由に書いてみました。

関戸本古今集について

11月号で触れました「高野切古今集」同様平安時代に書かれました古今集の写本で仮名名蹟の一つです。関戸家にこの断片が秘蔵されていたことから「関戸本古今集」の名で呼ばれるようになりました。**書風**は、高野切のように衿を正したものではなく、極めて自由で、変化に富み、流動美を遺憾なく表現したものといわれております。

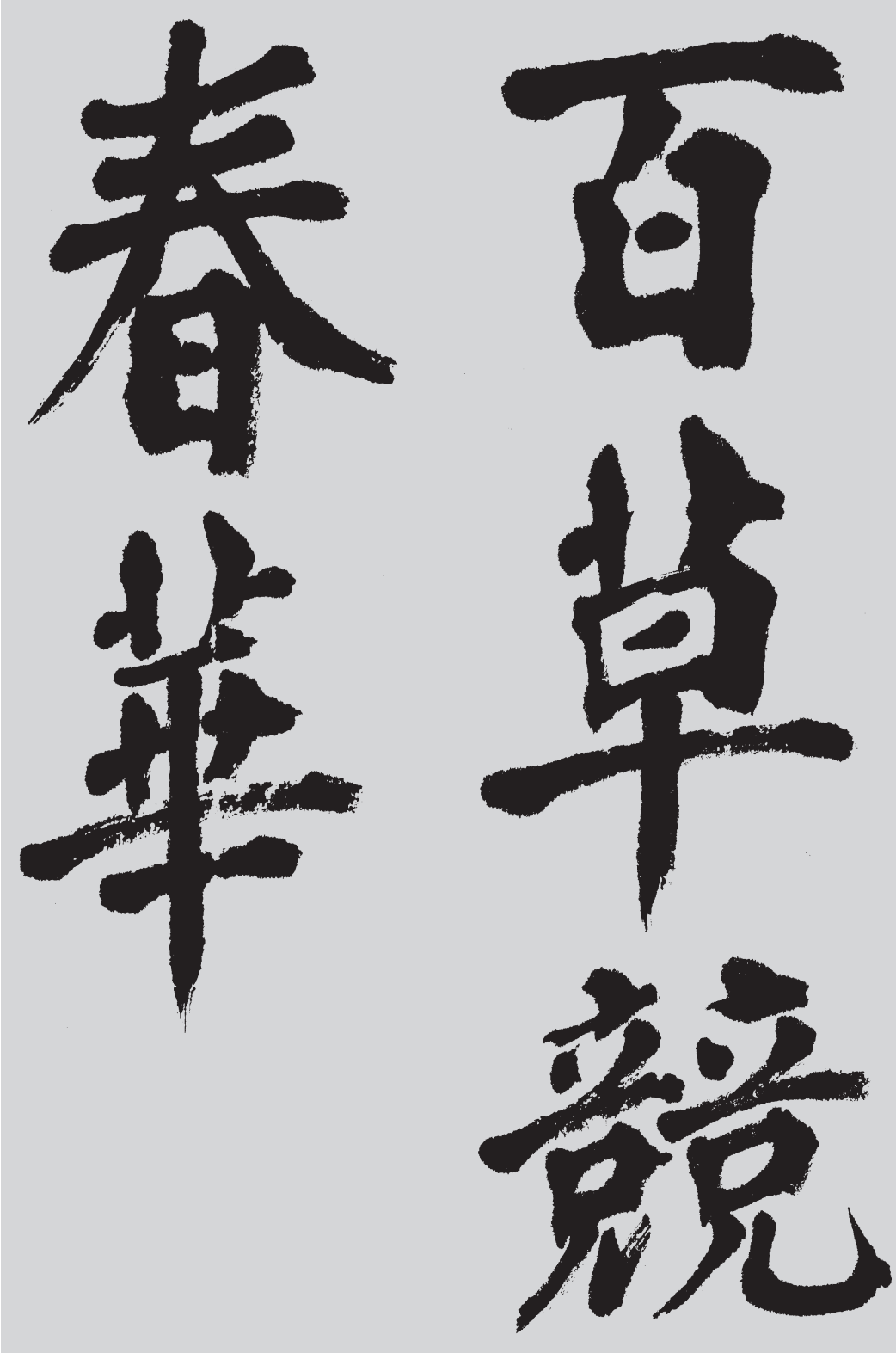
予告（四月二十二日締切）　**大空におほふ許の袖も哉春咲く花を風にまかせじ（後撰和歌集）**

◆**注意**
・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条かを○で囲み（1）と記入する。）
・二枚目からの出品（バーコード券の条かを○で囲み（　）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

漢字部課題参考　（三月二十二日締切）

平岡華雪先生書

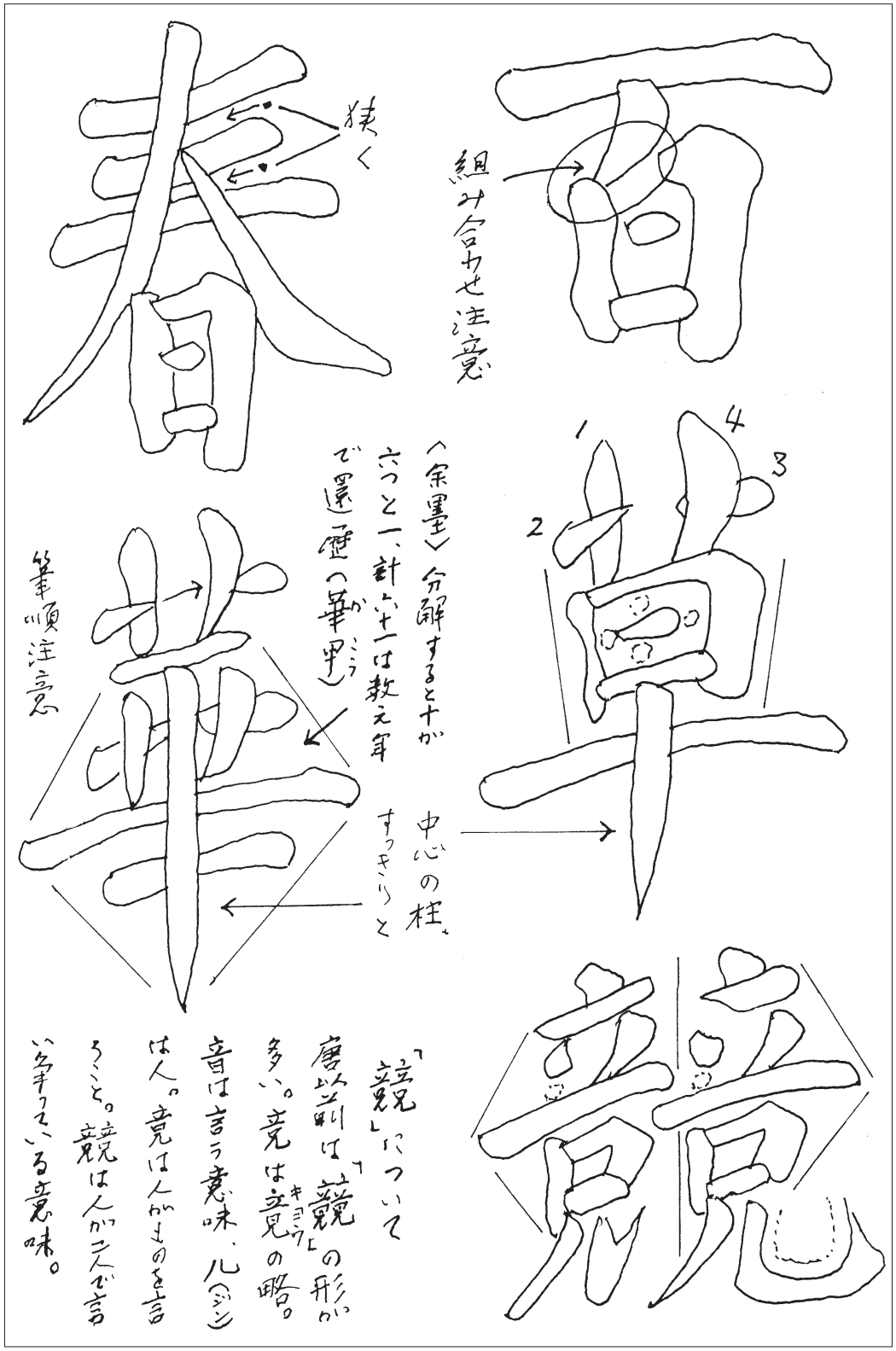
百草春華を競う。



訳…どの草も春の花を咲かせて妍を競うている。

▼**注意**……はじめて出品される方は私製の紙（3×4㎝位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

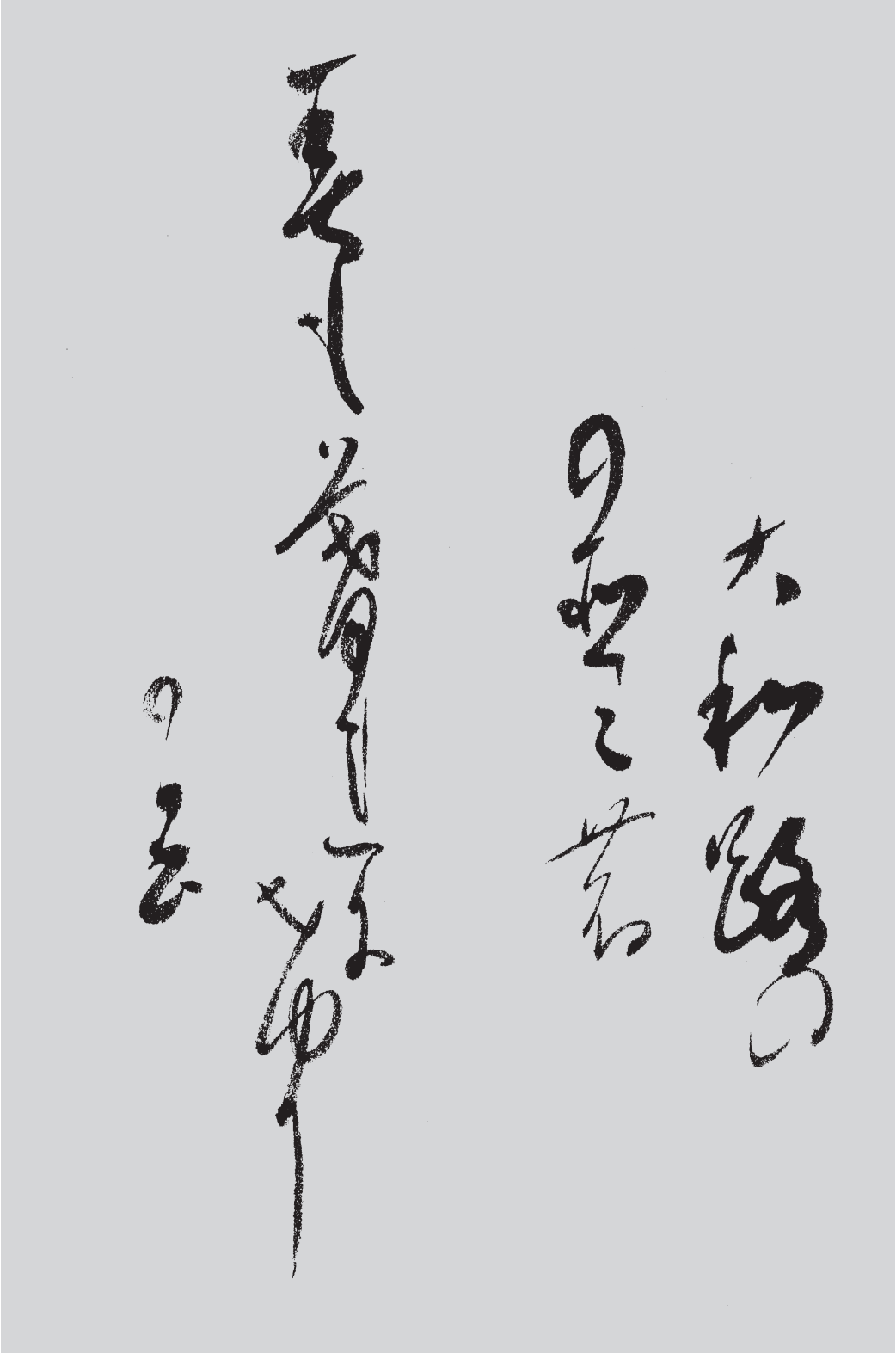
①漢字部　②支部名または都道府県名　③氏名または雅号　④新　会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。


狭く
組み合わせ注意
〈余墨〉分解すると十が
六つと一、計六十一は数え年
で還暦（華甲）
中心の柱、
すっきりと
筆順注意
1
2
3
4
「竟競」について
唐以前は「競」の形が
多い。竟は竟（キョウ）の略。
音は言う意味、儿（ジン）
は人。竟は人が口を言
うこと。競は人が二人で言
い争っている意味。

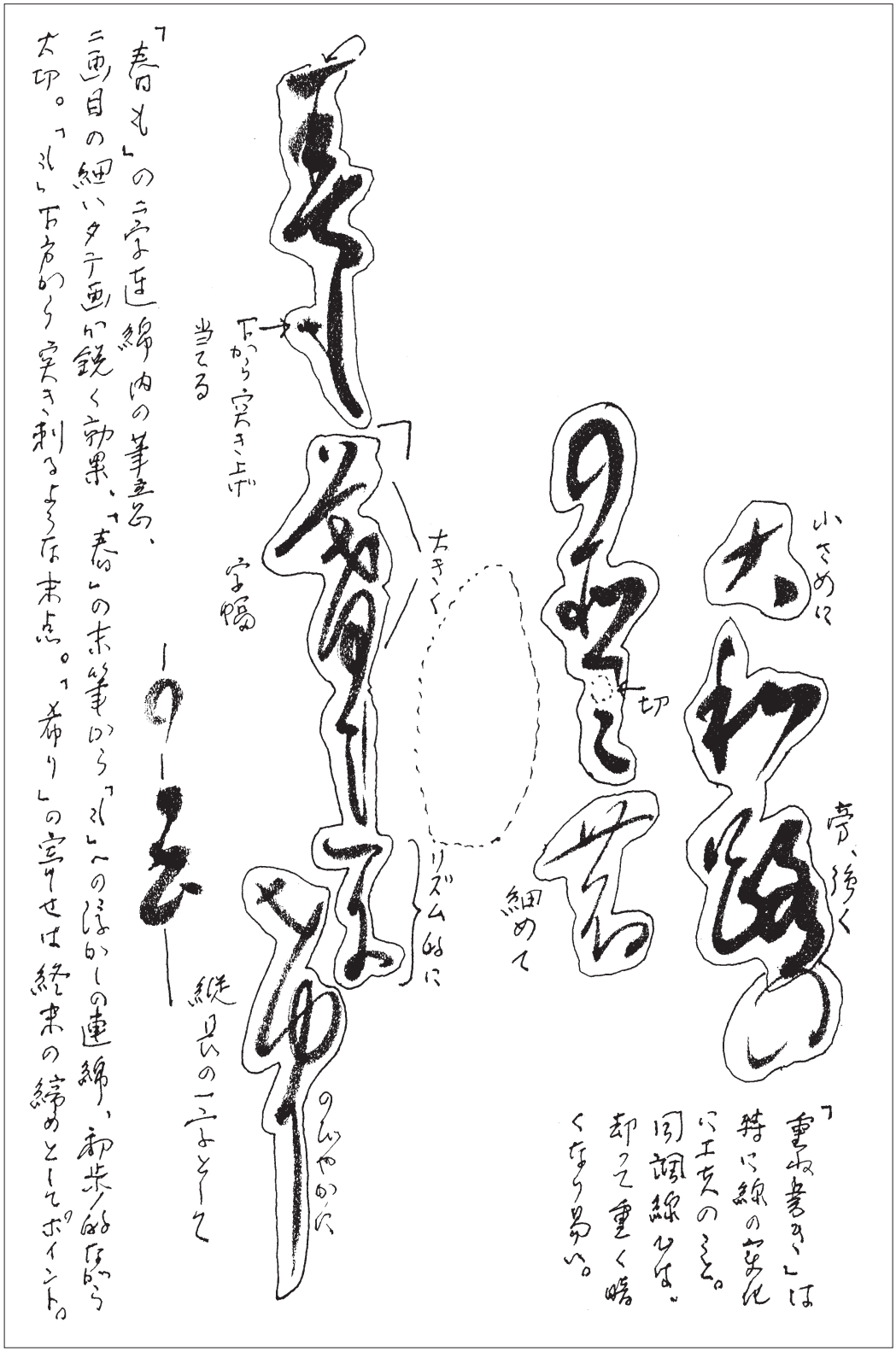
かな部課題参考　（三月二十二日締切）

平岡華雪先生書

大和路の望の春も暮にけり（智月）



▼注意……はじめて出品される方は私製の紙（3×4㎝位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。
①かな部　②支部名または都道府県名　③氏名または雅号　④新　会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



「重ね書き」は特に線の変化に工夫のこと。同調線なら、却って重く暗くなり易い。

「春も」の二字連綿内の筆意、二画目の細い タテ画が鋭く効果、「春」の末筆から「も」への ほかしの連綿、初歩的なら大切。「も」下方から突き刺るような末点。「春り」の宮廷は終末の締めとしてポイント。

条　幅　部　随　意　参　考

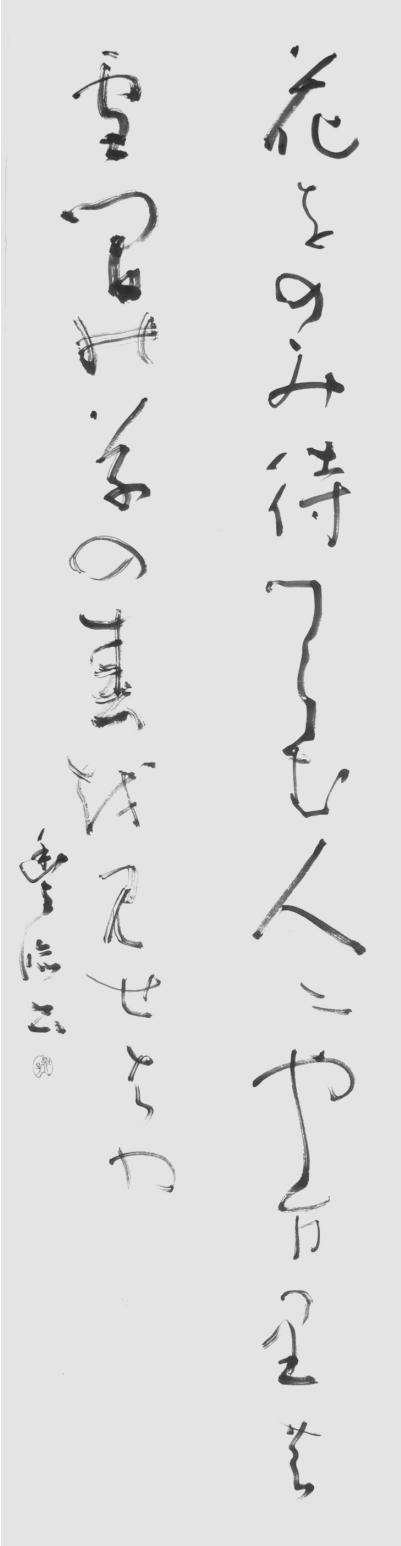
神野溪雲先生書

両岸晩風黄鳥樹　一坡春水白鷗天（高啓）

両岸の晩風黄鳥の樹、一坡の春水白鷗の天。

訳…川の左右には花の木を晩風が吹いてうぐいすが鳴き、堤には春水が満々として白鷗はそこに舞いとんでいる。

吉原豊臨先生書



花をのみ待つらむ人に山里の雪間の草の春を見せばや（壬二集　藤原家隆）

花をのみ待つらむ人二や万里農雪間能草の春越見せ者や

◆注 意　・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）

・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（　）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

条幅臨書部課題

外川霞夕先生担当

九成宮醴泉銘　唐　欧陽詢

闕、並地列州縣、人充編戸、氣淑年和
闕、並な地は州県を列ね、人は編戸に充つ、氣は淑して年は和らぎ

概観

九成宮醴泉銘の臨書担当にあたり碑法帖を幾冊か調べて見たところ、今迄あまり気にせずに手持ちの法帖で臨書していて違いに気づきませんでしたが、法帖の冒頭の文字の違いや細部の違い、線の太さ細さ等、旧法帖は線が太く豊かで潤いがありますが、最近の法帖は筆峰が露で線がシャープであり、色々と違いが目に付き改めて見直しました。

碑拓本の著名なもの　明　李祺旧蔵本　海内第一本、端方旧蔵本、その他重刻本も多い。今回は海内第一（二玄社）を使用致しました。

この碑は宋以来拓本を採る人が絶えず、又長い年月の間風化侵蝕され、文字は磨滅して痩せ、のちに一部研磨、加刻が施されて真を失うようになってしまいました。

九成宮醴泉銘はいずれの法帖でも流れの原点は整齢で強靭、たて長で背勢の欧法です。

○李祺旧蔵本

○海内第一本

各字のポイント

闕　縦画背勢に、胴がしまっている。

並　結体はほぼ三角形、小さな点は気脈がつながっている。

列　偏は小さく、旁は大きく、刂のハネは出してすぐ筆先を戻し直角に。

州　三本の縦画は背勢、点画は切れてばらばらのようでも気脈がつながっている。点画間は等しい。

充　終筆の右ハネはだんだん太くして右上に隷書風にハネ上がる。

編　糸偏が左の時は三点画にしてあるのが多いがこの書きかたは欧法としてはめずらしい。

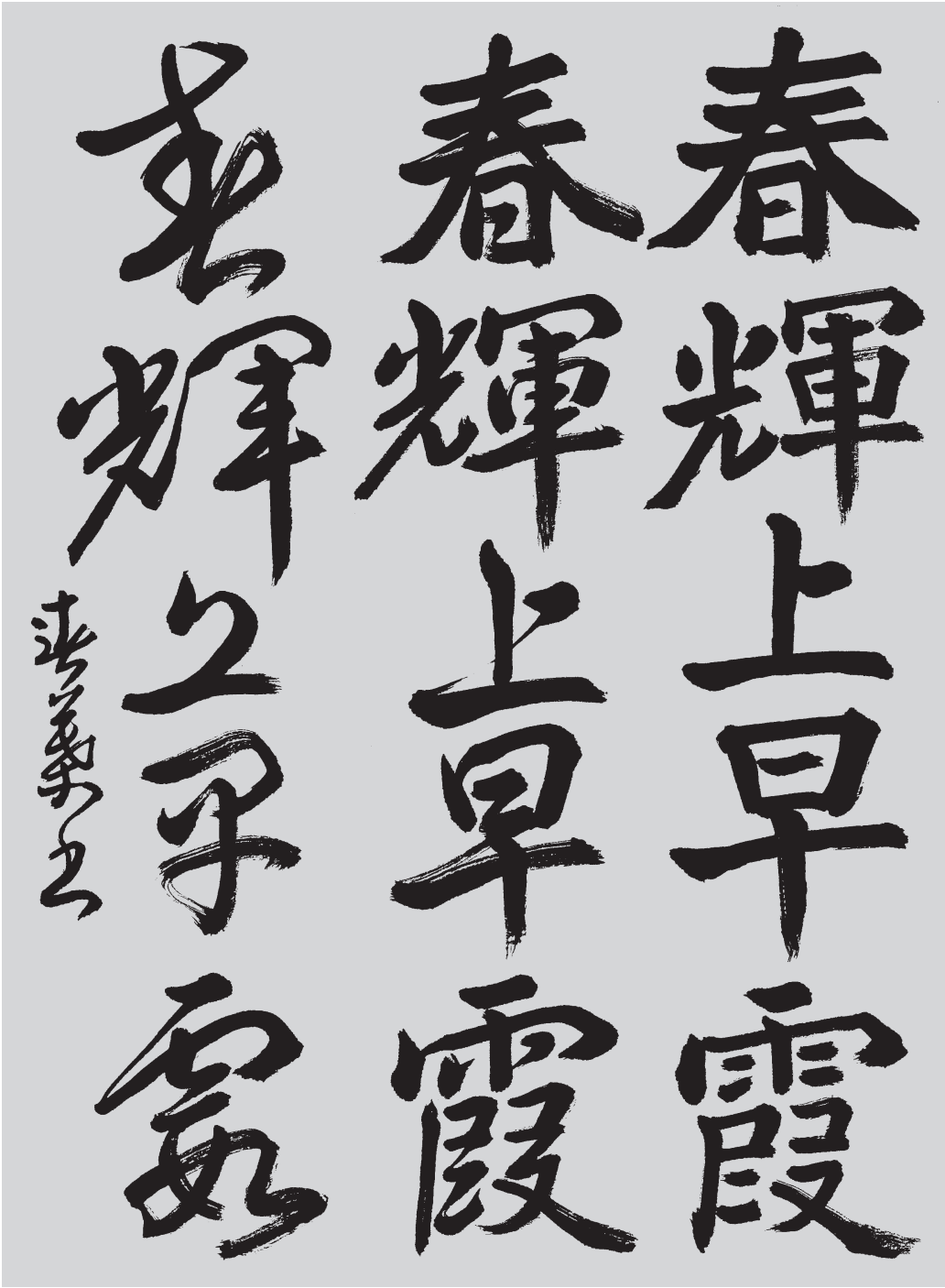
戸　一画横長く、左払いは伸びやかに。

※条幅臨書部は出品料無料です。是非チャレンジを！

◆**注 意**　・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に**条臨**と記入する。

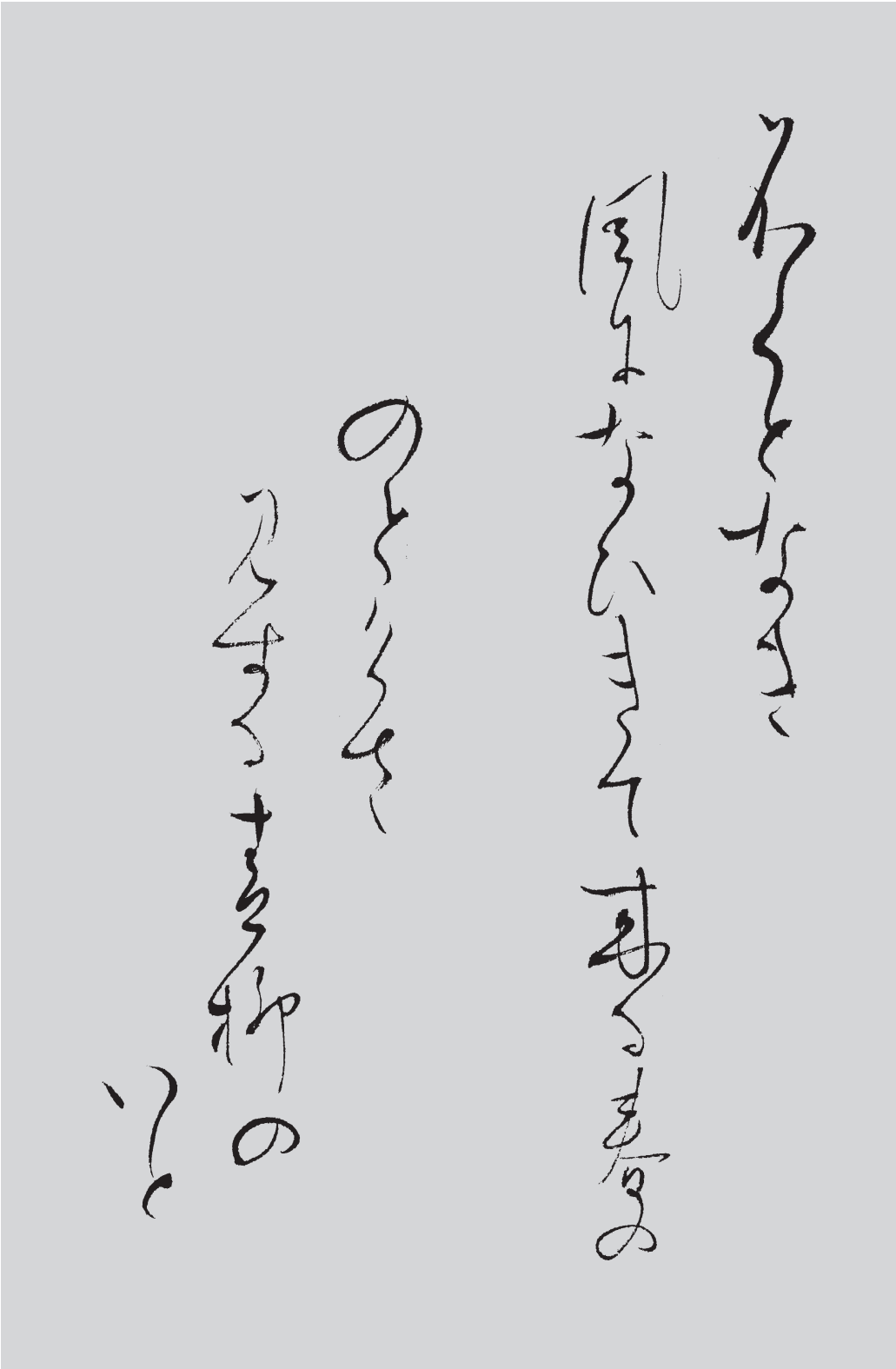
小林春葉先生書

春輝上早霞
春輝早霞を上す。



訳…春の光輝が満ちて早くも霞を棚引かせている。

1．随意部参考として出品してください。　2．会員外の出品料は400円。

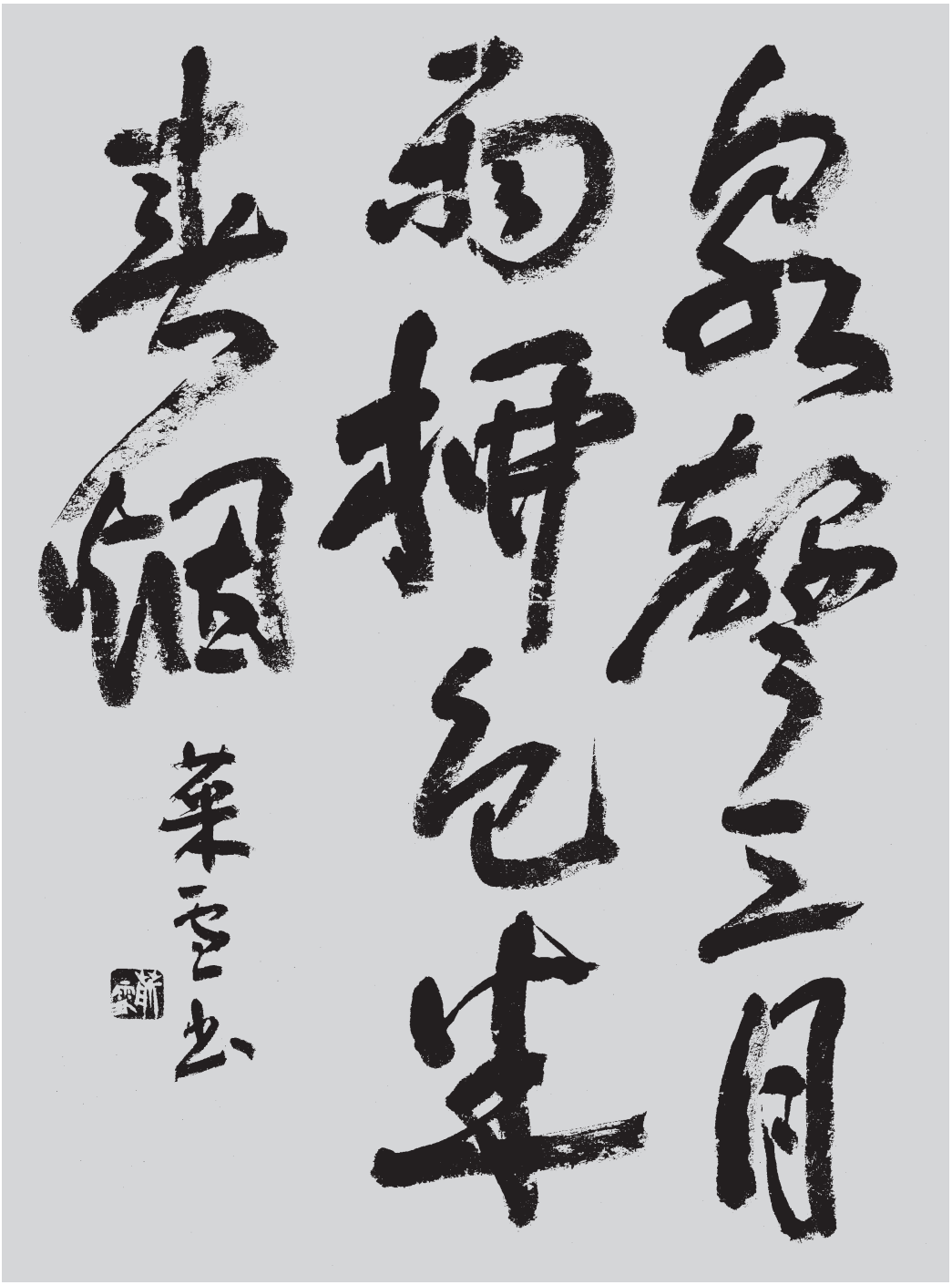


高塚竹堂先生書

ふくとなき風になびきて来る春ののどけさ見する青柳のいと（本居宣長）

◆随意部参考として出品してください。

藤江菜雪先生書

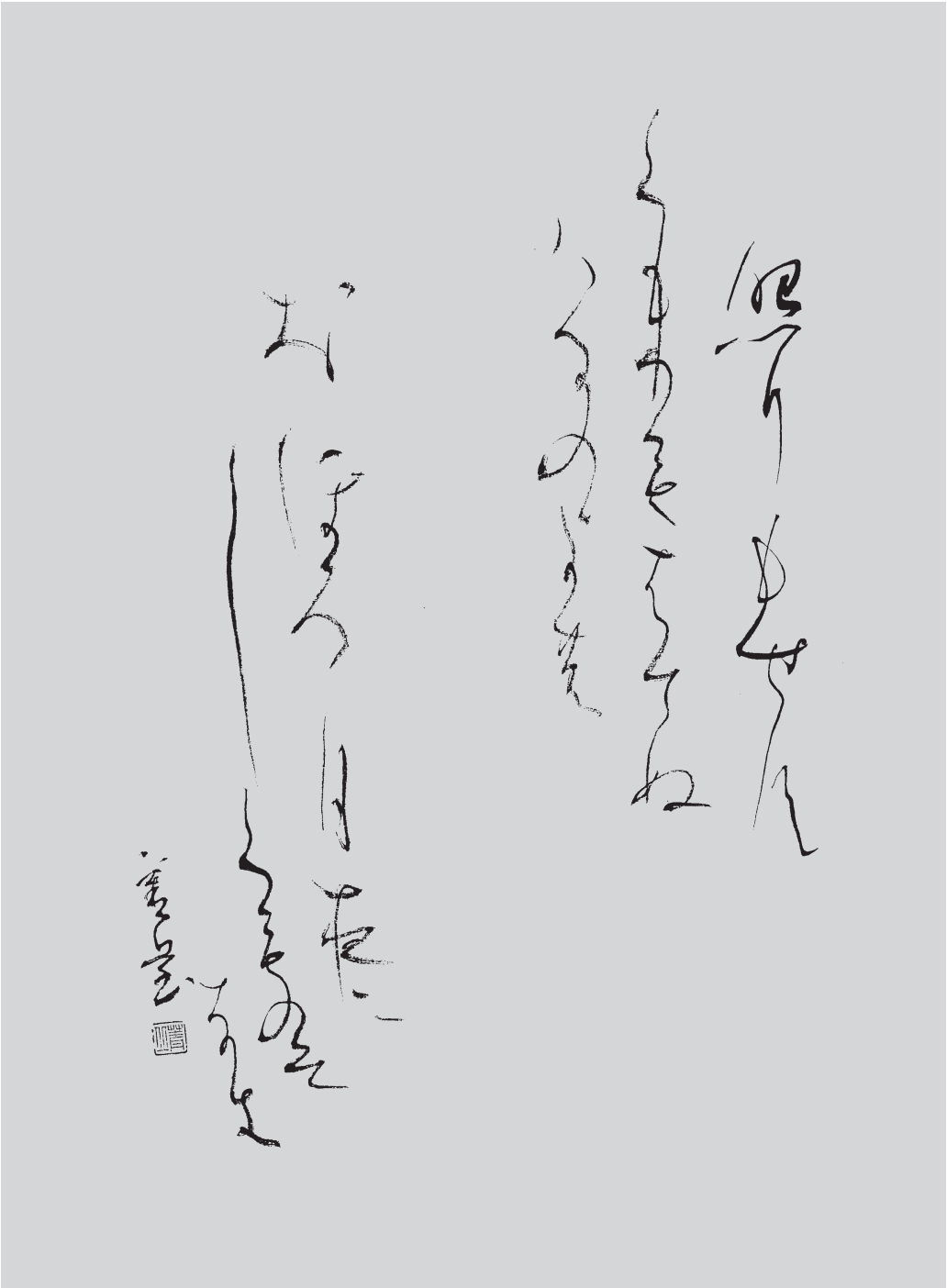


泉聲三月雨　柳色半春烟（謝恭）
泉声三月の雨、柳色半春の烟。

訳…水の音はやよいに降った雨でさらさら流れ、柳の色は小暗く過半は春がすみにとざされている。

添削又は手本希望者は本会規定により、藤江菜雪先生（〒244-0002　横浜市戸塚区矢部町2071―24）に直接お申し込みください。

随　意　部　参　考



北島菁丘先生書

てりもせずくもりもはてぬ春の夜のおぼろ月夜にしく物ぞなき（新古今和歌集　大江千里）

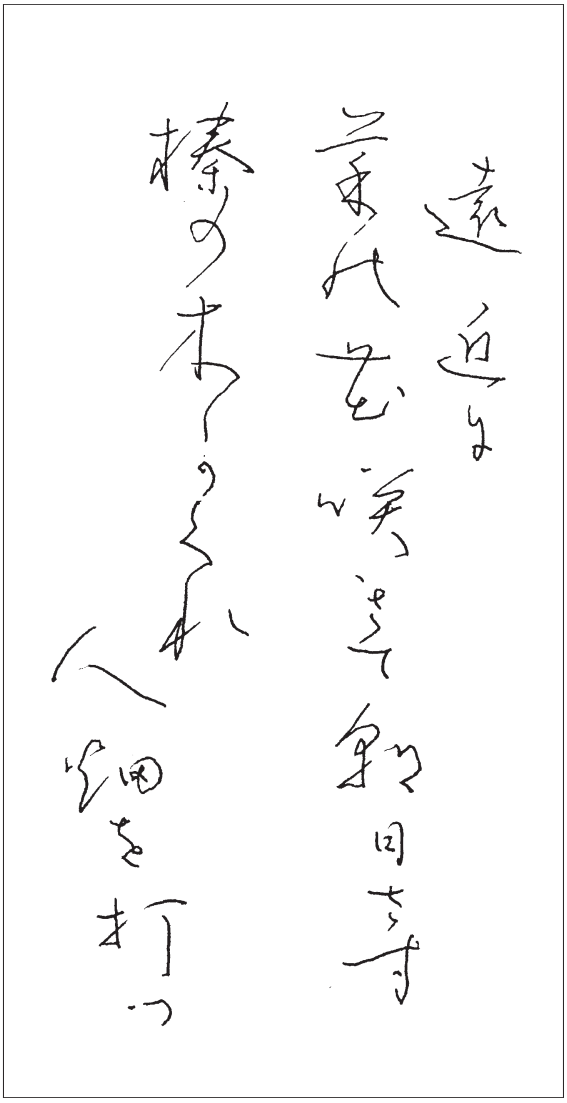
照りもせ須くも利毛者てぬ八るのよ農おほろ月夜二し久毛のそ奈支

添削又は手本希望者は本会規定により、北島菁丘先生（〒153-0064　目黒区下目黒５―11―32）に直接お申し込みください。

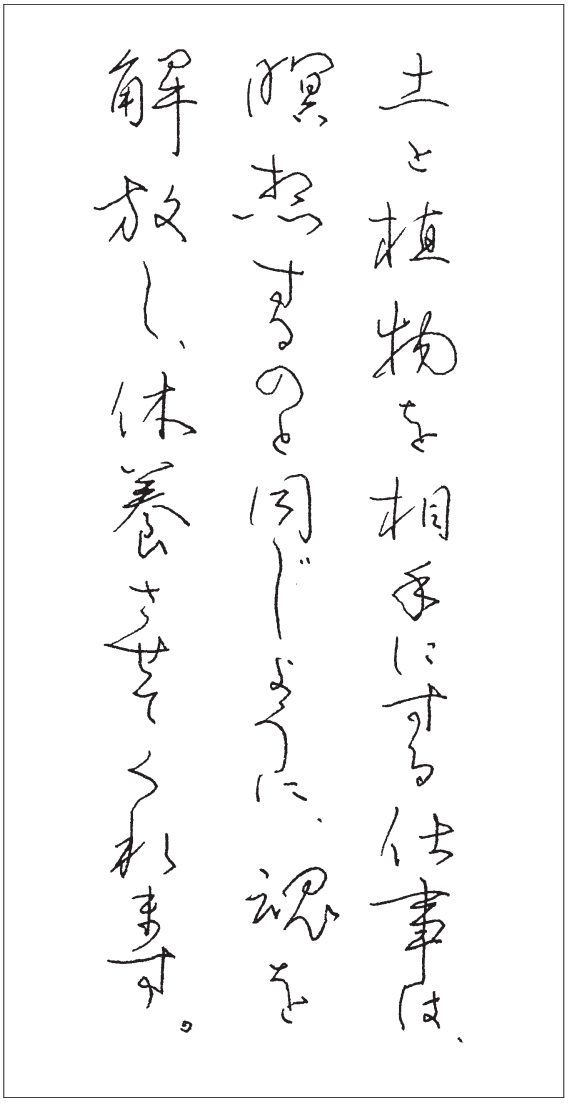
硬筆部課題参考　（三月二十二日締切）

喜多波竹先生書

課題1（初段以上）



課題2（初段格以下）



課題1（初段以上）

遠近に菜の花咲きて朝日さす
榛の木がくれ人畑を打つ
（正岡子規）

◆注意

(1) 自分の段級に合った課題を選択。
(2) ペンまたはボールペン（黒色）を使用のこと。青インクは不可。
(3) 段級欄は本人が記入（色は黒）
(4) はじめて出品される方は私製の紙（3×4㎝位に）次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
(5) 会員は無料・会員外は四〇〇円
(6) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。（返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと。）

課題1　六〇〇円
課題2　三〇〇円

課題1　喜多波竹先生
課題2　〒二四〇―〇〇六二
横浜市保土ヶ谷区岡沢町二一九ノ三

課題2（初段格以下）

土と植物を相手にする仕事は、瞑想するのと同じように、魂を解放し、休養させてくれます。
（「庭仕事の愉しみ」ヘルマン・ヘッセ）